

本資料の位置づけ・写真・成果指標について

※本資料は最終的にはA4判、両面印刷となります。本資料は印刷原稿ではなく、あくまで検討用資料として編集しています。

第3次雲仙市総合計画 【素案】

令和8年9月現在

第3次雲仙市総合計画のあらまし

1.計画の趣旨

雲仙市では、これまで「“つながり”で創る賑わいと豊かさを実感できるまち」を将来像とした第2次総合計画に基づき、市民、事業者、地域団体など多様な主体との連携のもと、まちづくりを進めてきました。

一方で、本市を取り巻く社会環境は大きく変化しています。人口減少や少子高齢化の進行に加え、地域産業の担い手不足、デジタル技術の急速な進展、自然災害の激甚化など、地域社会が直面する課題は複雑化・多様化しています。今後は、人口増加を目標とするまちづくりから、人口減少社会に適応しながら地域の活力と暮らしを維持・向上させる持続可能な地域づくりへの転換が求められています。

こうした中、本市には豊かな自然環境をはじめとする観光資源、地域に根ざした産業や歴史文化、人と人とのつながりから形成されたコミュニティや地域資源など、多くの強みがあります。このような強みを最大限に活かしながら、新たな価値の創出や地域課題の解決に挑戦していくことが、これからのまちづくりにおいて重要となります。

本計画は、本市の目指す将来像を市民と共有し、その実現に向けたまちづくりの方向性を示す最上位計画として策定するものです。市民、事業者、地域団体、行政など多様な主体がそれぞれの役割を果たしながら、ともに考え、ともに行動する「共創」のまちづくりを進め、誰もが住みたい、住み続けたいと実感できる持続可能な雲仙市の実現を目指します。

2.計画の特性

本計画は、本市が目指す将来像と、その実現に向けたまちづくりの方向性を示す計画です。市民、事業者、地域団体、行政など多様な主体が将来のまちの姿を共有し、共創による持続可能な地域づくりを進めるための指針として、次の特性を有しています。

1 市政運営の最上位計画

本市のまちづくりの基本理念や将来像を示し、市政運営の基本となる最上位計画です。

2 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含する計画

人口減少や地域活性化に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含した計画として位置付けます。

3 各分野別計画の指針となる横断的な計画

福祉、子育て、教育、産業、観光、環境、防災などの分野別計画との整合を図りながら、各施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となる計画です。

4 市民・事業者・行政が共有する地域経営の指針

多様な主体がそれぞれの役割を果たしながら、ともに地域課題の解決や新たな価値の創造に取り組むための共通の指針となる計画です。

3.計画の構成と期間

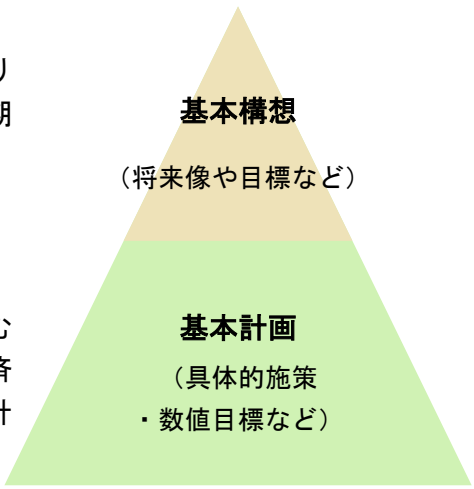
本計画は、本市の将来像とまちづくりの基本的な方向性を示す「基本構想」と、その実現に向けた施策を体系的に示す「基本計画」により構成します。

基本構想

基本構想は、本市が目指す将来像やまちづくりの基本理念、基本方針を示すものであり、計画期間は令和9年度（2027）から令和18年度（2036）までの10年間とします。

基本計画

基本計画は、基本構想の実現に向けて取り組む施策や事業の方向性を示すものであり、社会経済情勢の変化や行政課題に柔軟に対応するため、計画期間を前期・後期それぞれ5年間とします。



	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036
基本構想	第3次基本構想（10年）									
基本計画	第3次前期基本計画（5年）					第3次後期基本計画（5年）				

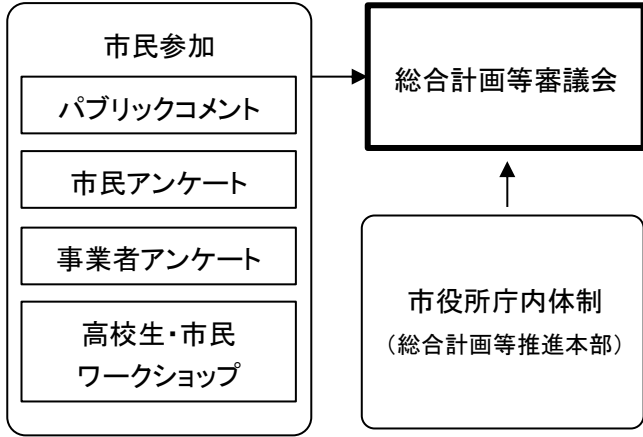
4.策定体制

本計画の策定は「市民参加」と「職員参加」を基本に作業を進めました。

市民参加については、市民・事業者アンケート調査や高校生・市民ワークショップ、パブリックコメントを通じ幅広い意見を把握し計画に反映しました。

また、市役所庁内においては、各課へヒアリングを行い、総合計画等推進本部を設置し、全庁的な体制のもと検討を進めました。

最終的なとりまとめは、学識経験者等で構成する総合計画等審議会を開催し、多様な観点から計画の策定を行いました。



I

2036年 雲仙市が 目指す姿

基本構想
将来像から基本方針

1 | 2036年 雲仙市が目指す姿

—将来像—

温もりと夢をつなぐまち 雲仙市

雲仙市には、豊かな自然や歴史文化、地域に根ざした産業、そして人と人との温かなつながりなど、多くの魅力と可能性があります。

これまで地域の中で育まれてきた支え合いや安心感、地域への愛着といった「温もり」を大切に受け継ぎながら、市民一人ひとりの希望や挑戦、未来への可能性である「夢」を育み、その想いや力を人と人、地域と地域、世代と世代へと「つなぐ」ことが、これからのまちづくりに求められています。

人口減少が進行する中においても、多様な主体が力を合わせて地域の価値を高め、暮らしの質を向上させることで、誰もがこのまちに誇りと愛着を持ち、豊かさと成長を実感できる持続可能な地域を目指します。

その願いを込め、本市の将来像を「温もりと夢をつなぐまち 雲仙市」と定めます。

『温もり』

- ・優しい人々
- ・人と人との支え合い
- ・地域への愛着と誇り
- ・安心して暮らせる生活環境
- ・温泉をはじめとする豊かな自然

『夢』

- ・未来への希望と可能性
- ・果敢な挑戦
- ・新たな価値の創造
- ・次世代への期待

『つなぐ』

- ・市民と市民との交流
- ・事業者と事業者の連携
- ・地域（市民）と市外（多様な人）との結びつき
- ・現在から未来への懸け橋
- ・受け継がれてきた歴史・文化

誰もが雲仙市に愛着と誇りを持ち、
人口減少社会においても、豊かさを実感できる持続可能な地域を目指します。

2 | まちづくりの基本姿勢

「温もりと夢をつなぐまち 雲仙市」の実現に向けて、地域の魅力や価値を高めるとともに、多様な主体がつながりながら未来を創っていくことが重要です。雲仙市では、この考え方を「価値共創」と位置付け、まちづくりを進めることとします。

雲仙市のまちづくりのキーワード

価値共創

地域の価値を高め、人と地域がつながりながら、ともに未来をつくる考え方

価値共創の具体的なイメージ①

地域の魅力と価値を高める (知る・磨く・生みだす)

市民の誇りである自然や歴史文化、産業や人など、雲仙市ならではの“強み”を活かし、地域の活性化につなげる。



自然／温泉／農林水産業／商工観光業／歴史文化／人材／技術・伝統 など

【キーワード】
高付加価値化
ブランド化
挑戦
イノベーション
情報発信

価値共創の具体的なイメージ②

みんなで未来をつくる (つなぐ・広げる・活かす)

市民や事業者、地域団体、行政など、多様な主体がつながり、ともに考え、ともに行動しながら、新たな価値や可能性を創り出す。



市民／事業者／学校／行政／関係人口 など

【キーワード】
共創
連携
協働
デジタル活用

温もりと夢をつなぐまち
雲仙市

3 | 10年後のまちのイメージ

基本方針1 1 力強い産業づくり

高付加価値化などにより
事業所の稼ぐ力が高まり、
安定した雇用が生まれています。

農林水産業や観光業など地場産業の
高付加価値化やデジタル化による生
産性が向上し、地域経済に活力が生
まれています。企業誘致や創業も進
み、誰もが働きたい、挑戦したいと
思えるまちになっています。



農林水産業 / 商工業・企業誘致・新産業 / 物産ブランド / 観光・交流

基本方針2 2 磨き輝く魅力づくり

地域の魅力を若者が再発見し、
UIターンする人が増加しています。
また多くの雲仙市ファンが雲仙市と
多様な関係を作っています。

雲仙市の魅力が内外に伝わることで、市民の
愛着・誇りの醸成や雲仙市ファンの拡大が進
んでいます。
若者流出が徐々に少なくなり、UIターンの増
加により人口減少が緩やかになっています。



関係人口 / 若者定住・移住 / シティプロモーション / 歴史・文化・芸術

基本方針3 3 人を育むまちづくり

安心して子育てができ、
多様な学びの環境の中で
みんなが成長を続けています。

安心して子どもを産み育てることが
でき、多様な学びの機会が充実して
います。未来を担う人材が育ち、地
域で活躍しています。



出会い・結婚 / 子育て支援 / 学校教育 / 生涯学習 / 生涯スポーツ

温もりと夢を つなぐまち 雲仙市

基本方針4 4 安心の暮らしづくり

支えあいの仕組みが定着し
誰もが安心して暮らせるまち
になっています。

市民一人ひとりが支えあい、
必要な支援を受けられる体制
づくりが進み、いくつになっ
ても健康で安心して暮らせる
まちになっています。



地域福祉・高齢者福祉 / 障がい者福祉 / 健康・医療
暮らしの安全確保 / 社会援護 / 協働のまちづくり

基本方針5 5 持続可能な生活基盤づくり

快適で暮らしやすく、誰もが
安心して生活できる持続可能
なまちになっています。

高規格道路の整備により移動の利便性が
向上しています。また、デジタル技術の
活用や社会基盤施設の長寿命化・適正管
理が進み、誰もが安全・快適に暮らし続
けることができる持続可能な生活基盤が
確立しています。



道路・公共交通 / 社会基盤 / 上下水道 / 情報化・先端技術 / 環境保全

基本方針6 6 戦略的な行財政運営

デジタル技術の活用や
多様な参画による効率的な
まちづくりが進んでいます。

市民・地域・事業者・行政が連携し
ながら地域課題の解決に取り組むと
ともに、自主財源の確保や効率的な
行財政運営により安定した財政基盤
が確立され、将来にわたり持続可能
な行政財政運営が実現しています。



行政運営 / 財政運営

4 | これから向き合うまちの課題

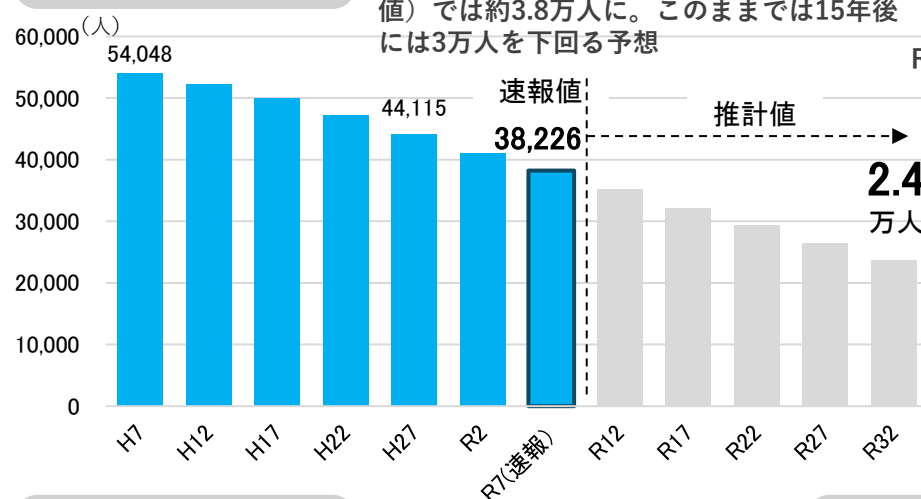
課題① 人口減少社会への対応

本市は人口減少が進行しています。令和7年国勢調査（速報）による本市の人口は3.8万人と10年前に比べ▲5900人（▲13.3%）と年間約600人のペースで減少しています。

人口減少の主な要因は10代後半の若者の流出と高齢化による自然減にあります。

今後は、若者の地元定着を進めるとともにUターンの方の更なる充実が求められます。また、出会いや結婚を後押しするとともに、子育て環境をさらに充実させることで、出生数の増加を図る必要があります。

人口動態・将来推計人口



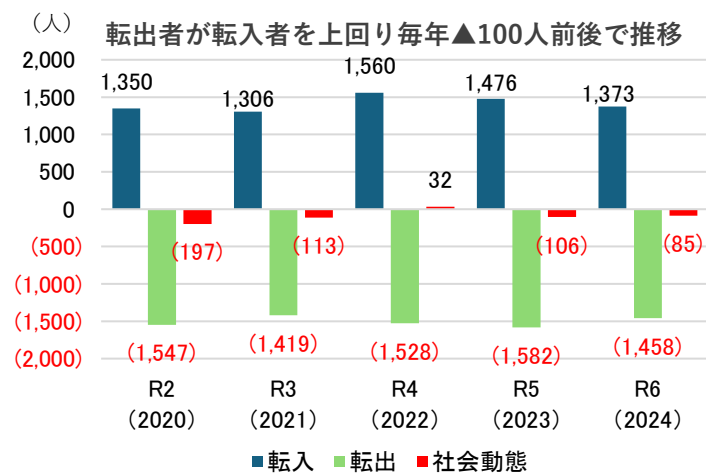
年齢3階級別構成比（推計）

R32には老年人口が生産年齢人口を上回る可能性

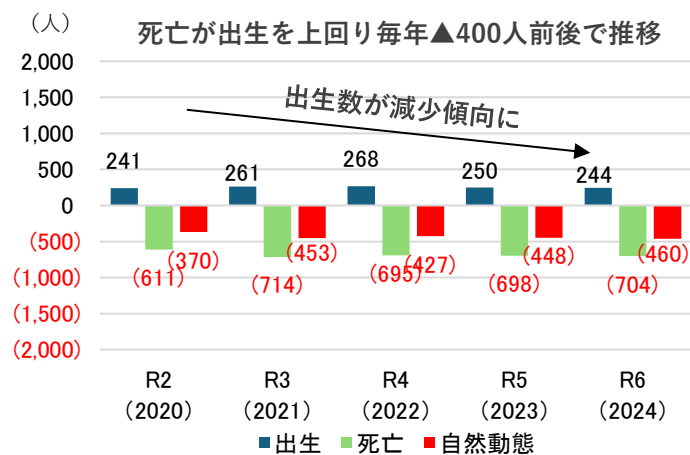
	R7	R32
【年少人口】0-14歳	11.3%	9.2%
【生産年齢人口】15-64歳	49.7%	41.1%
【老年人口】65歳以上	39.0%	49.7%

資料）国勢調査。国立社会保障人口問題研究所

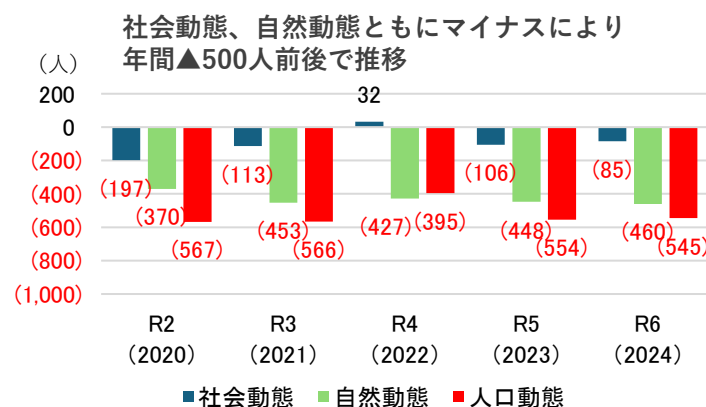
社会動態（転入—転出）



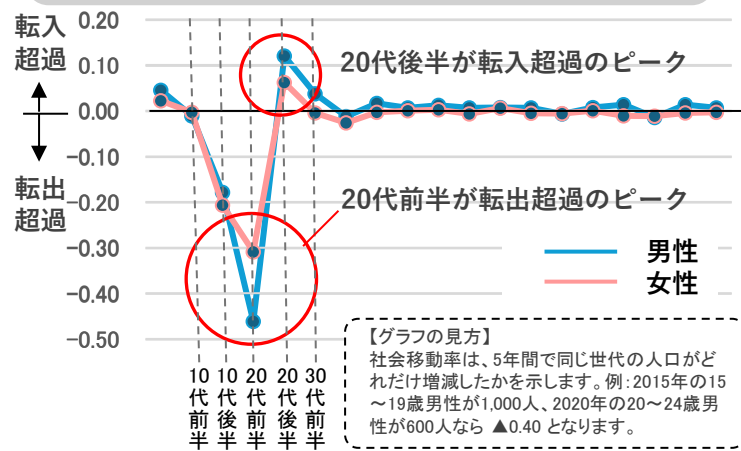
自然動態（出生—死亡）



社会動態・自然動態



5歳階級別・男女別社会移動率（2015年→2020年）



市民の声（アンケート調査・ワークショップでの主な意見）

生活環境への影響への不安

人口減少により市場（商圏）が縮小し、大手量販店やチェーン店に押されて地元の商店が次々廃業している。

少子高齢化や人口減少により、今後さらに空き家や空き地、耕作放棄地が増加することへの強い懸念がある。

担い手不足の不安

介護分野でも担い手不足が深刻化している。

5年後、10年後の自分たちの老いと、さらなる人手不足を考えると、事業継続に強い不安がある。

人口減少や人材不足により買物の場や移動手段が減少し、高齢者が住みにくくなった。

若者定住につながるまちづくりへの期待

若者が「やりたい」「続けたい」と思える職業になるよう、安定した収入が得られる仕組みが必要。

若者が魅力を感じる職場を提供することで、少子化対策にもつながるのでは。

若者や子育て世代が安心して働ける職場環境や、収入が安定・向上する雇用の創出が必要。

働く場所の確保、地元雇用の増加が若者定着に必要。

若者が働ける環境を整え、市外流出を防ぎたい。

大学・専門学校の誘致で若者の教育・就業を支援しては。

若者や子育て世代が利用しやすいショッピング施設、飲食店、カフェ、チェーン店などを増やし、市内で楽しめる環境を整えてほしい。

まちづくりの方向性

若者の定着とUターンの強化

- ・若者の地元定着の促進
- ・若者のUターン促進
- ・関係人口を起点とした移住促進
- ・結婚・出産・子育て支援の充実

人口減少対策

人口減少に対応したまちづくり

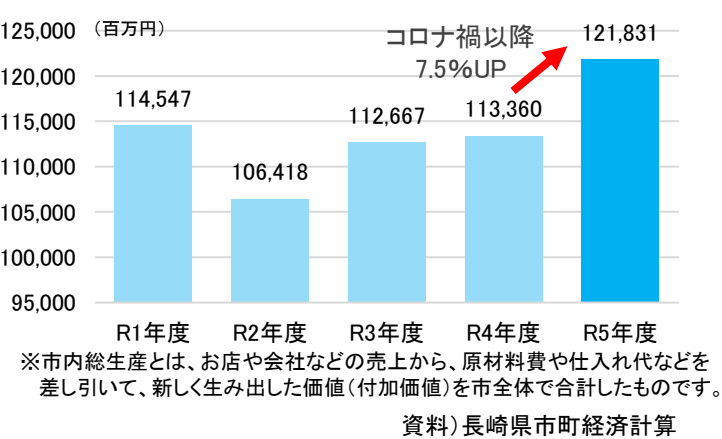
- ・組織の枠組みを超えた人材育成
- ・外国人材の受入れ環境の整備
- ・デジタル化などによる省力化・効率化の推進

課題② 経済の再生と雇用の確保

本市の総生産は回復傾向にありますが、労働者1人当たりの稼ぐ力の指標である「労働生産性」は全国平均を大きく下回る状況です。事業者アンケートでは物価高や人材不足、後継者問題が深刻化している様子が伺えます。また、市民からは若者の雇用促進や企業誘致などを求める意見が多くみられる状況です。

今後は、地場産業の活性化と企業誘致を両輪に、人材不足への対応や事業承継・後継者対策などに取り組んでいく必要があります。

市内総生産 コロナ禍で停滞していた総生産は増加傾向に

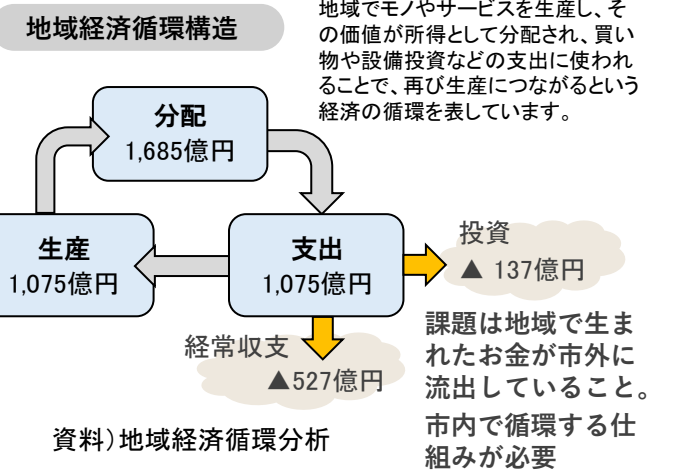
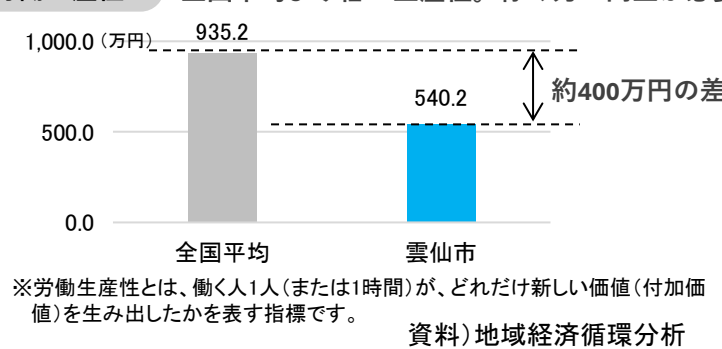


分野別総生産上位ランキング (R5年度) (百万円)

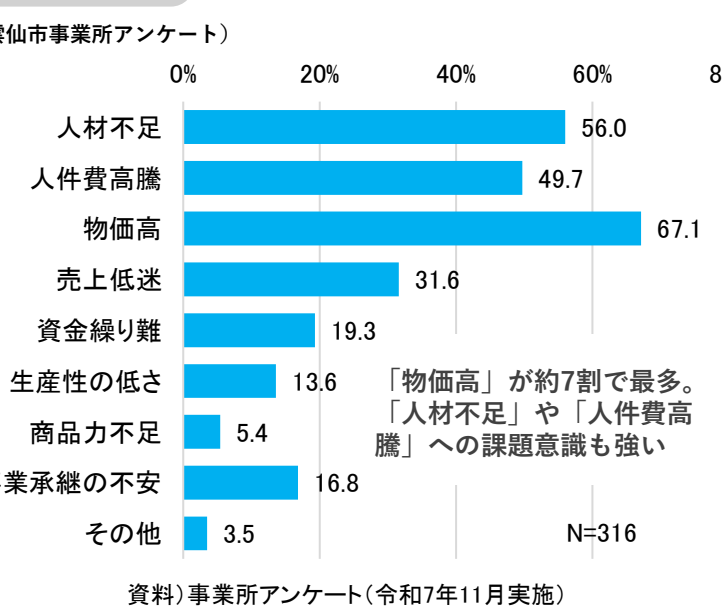
保健衛生・社会事業	17,827
製造業	15,361
建設業	14,736
農業	13,229
不動産業	12,926
卸売・小売業	10,486
公務	6,596
教育	5,700
宿泊・飲食サービス業	5,645
電気・ガス・水道等	4,314

資料)長崎県市町経済計算

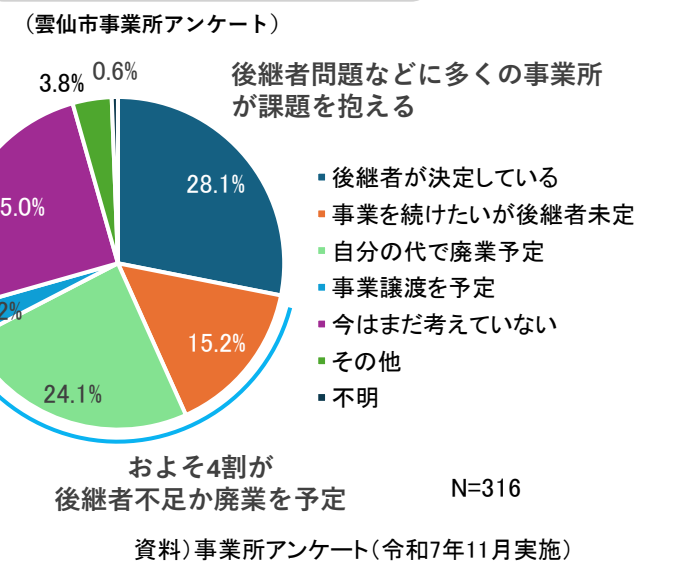
労働生産性 全国平均より低い生産性。稼ぐ力の向上が必要



経営上の課題 物価高や人材不足など厳しい経営環境



後継者の有無・事業の継続意向



市民の声 (アンケート調査・ワークショップでの主な意見)

若者の雇用確保への期待

働く場所の確保、地元雇用の増加が若者定着に必要。

若者や子育て世代が安心して働ける職場環境や、収入が安定・向上する雇用の創出が必要。

企業誘致への期待

大規模企業や半導体、関連企業の誘致で雇用拡大が必要。

企業誘致や雇用創出など、多様な選択肢を持つまちづくりを進めてほしい。

産業振興への期待

農業・漁業・観光などの一次産業と関連産業を連携させ、島原半島全体の特性を活かした産業振興を図るべき。

「年中は雇えないが、農繁期だけ欲しい」といったニーズに合う雇用システムが不足している。

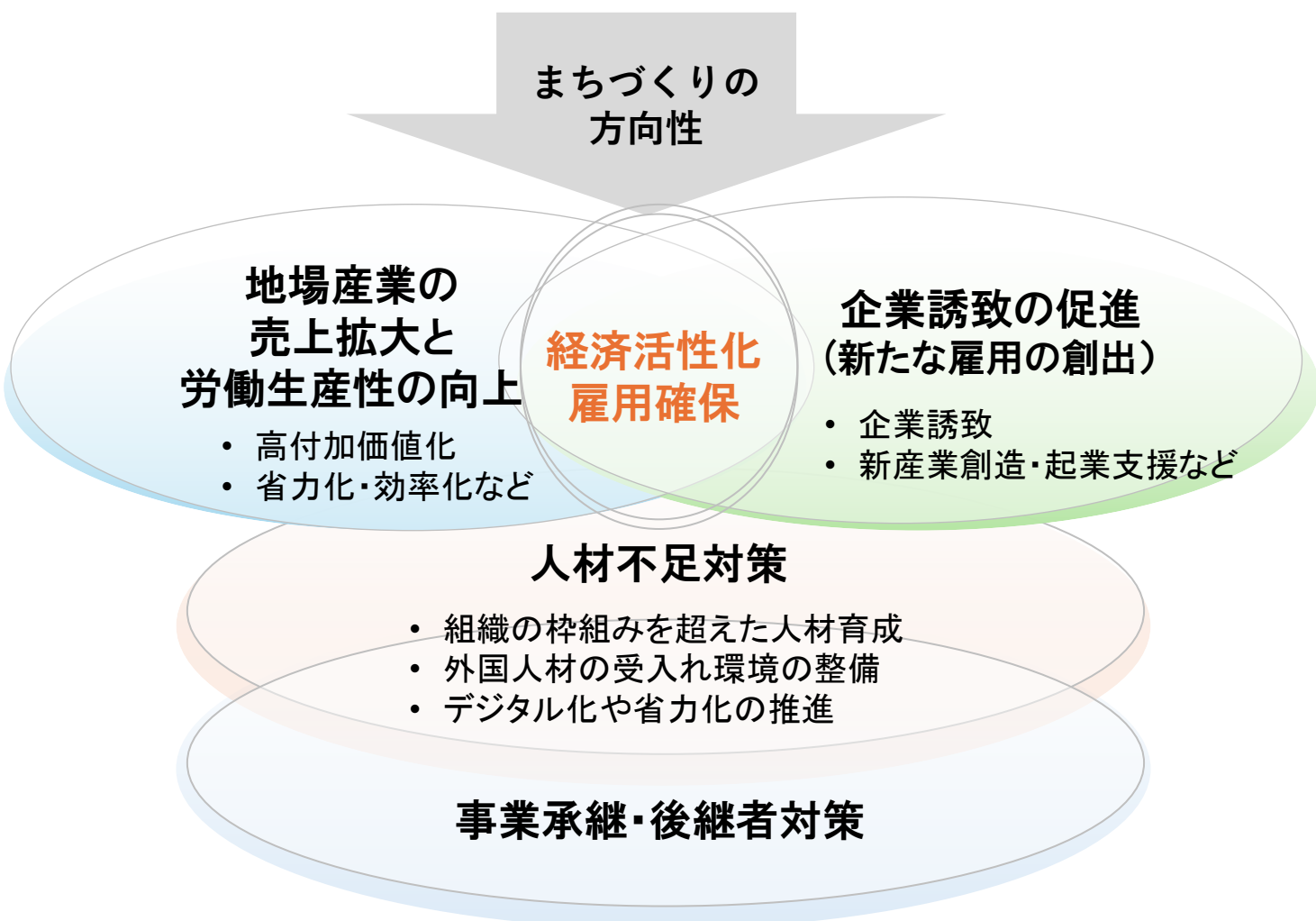
大型商業施設の整備は雇用創出や経済効果が期待でき、市外への買い物流出を防ぐ効果もあるため、積極的に進めてほしい。

後継者問題への対応

農業後継者が減少しており、次世代を育成する取組を強化してほしい。

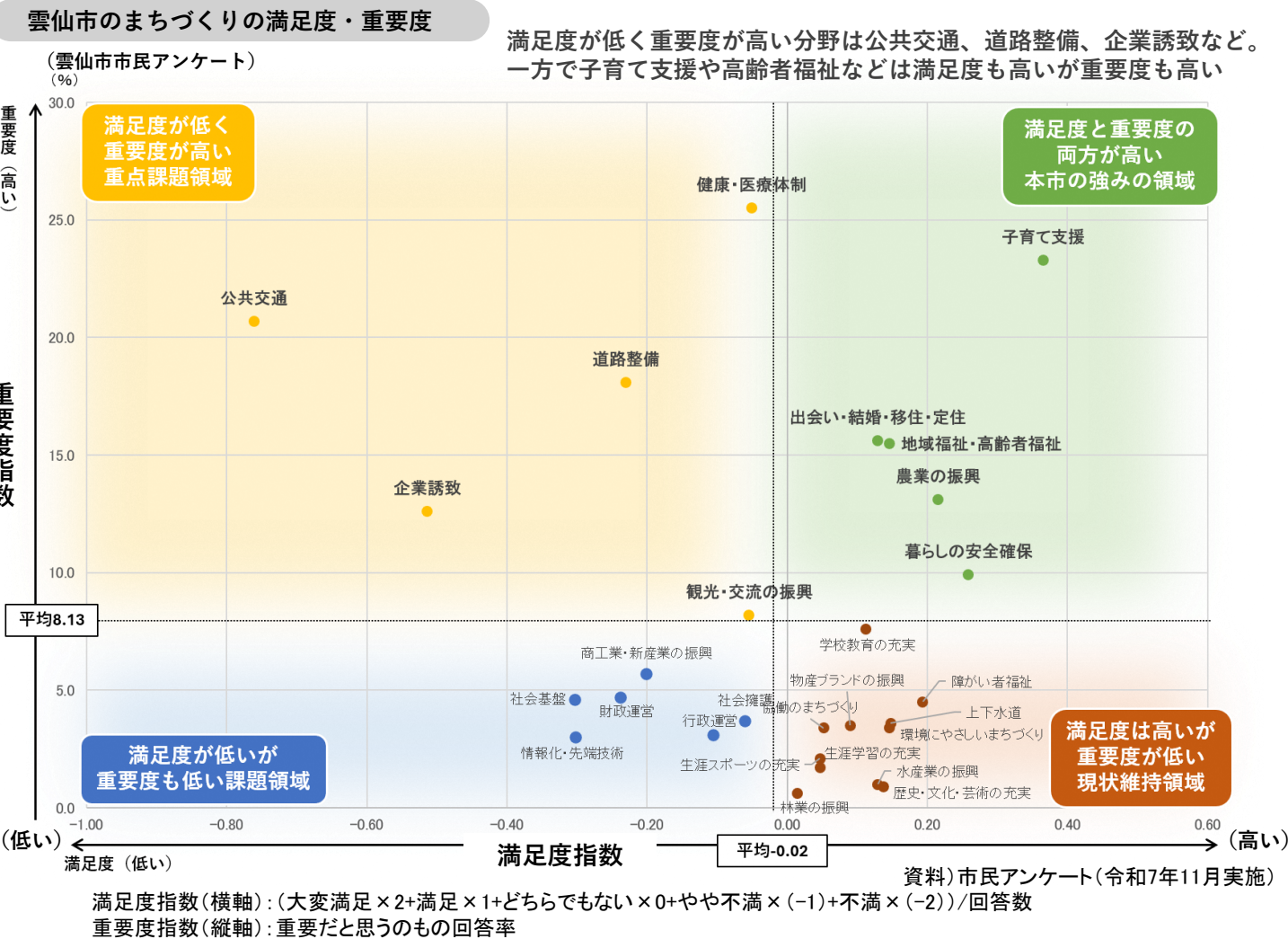
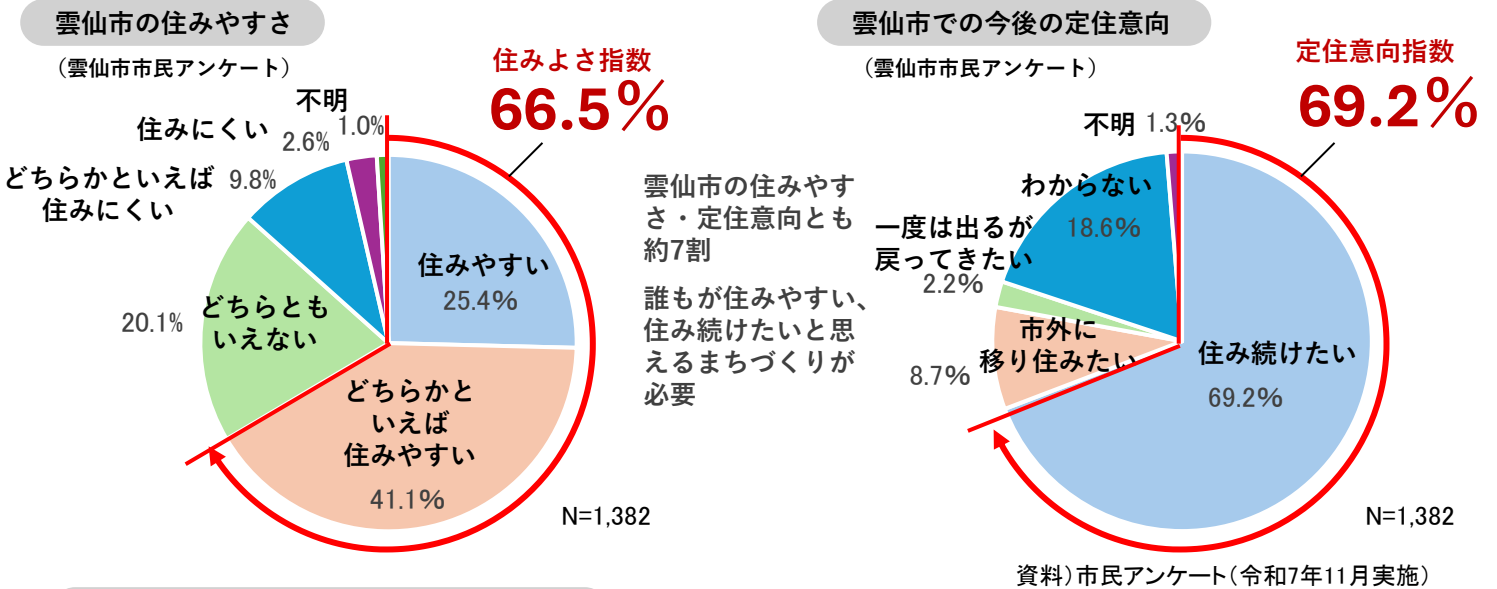
第一次産業への対応

農業を基幹産業として位置づけ、小規模農家への支援や後継者育成、耕作放棄地の活用など、持続可能な農業の仕組みを進めてほしい。



課題③ 便利で安心の暮らしづくり

“住みやすさ”は本市のまちづくりの重要な指標です。現在では7割近くの市民が“住みやすい”と感じていますが、市民アンケート調査やワークショップでは、公共交通や道路整備、子育て支援、買い物環境など、様々な分野で改善を期待する意見が寄せられました。今後は、豊かな自然環境や歴史文化などの本市の「強み」を活かしたまちづくりを進めるとともに、暮らしの不安や不便を解消するまちづくりを進めていく必要があります。



市民の声 (アンケート調査・ワークショップでの主な意見)

公共交通に関する意見

島原鉄道はJRとの接続が悪く、このままでは利用者が減少する恐れがあるため、公共交通全体を見据えた抜本的な改善が必要。

公共交通などのサービスもIT化し、利便性向上につなげてほしい。

道路やまちの基盤に関する意見

小浜～愛野間、千々石～小浜、島原道路、国道389号線など、主要道路の早期完成・補修を強く求める。

宅地造成や空き家対策など、周辺の都市基盤整備と連動した計画が必要では。

子どもが安心して遊べる公園や遊具が不足している。

高齢化社会への対応に関する意見

独居高齢者の増加により、安否確認や近隣同士の交流を促す仕組みが必要。

老後の暮らしに不安のない福祉環境を整えてほしい。

子育て支援に関する意見

保育料の無償化・軽減や、未就学期から子育て中まで切れ目のない支援を充実させてほしい。

相談体制や専門家による子育て支援を充実させてほしい。

歴史文化や自然環境に関する意見

自然・景観・歴史などの魅力は豊富だが、市民向けの情報発信が十分でなく、市民自身が魅力を認識・発信できていないのでは。

自然が豊かで人柄も温かく、全体として住みやすいまちだと感じており、今後も安心・安全に暮らせる雲仙市であってほしい。

子育て支援の内容が分かりにくいいため、情報発信を強化してほしい。

まちづくりの方向性

雲仙市の強みを活かしたまちづくり

- ・ 自然環境
- ・ 歴史文化
- ・ 子育て
- ・ コミュニティ
- ・ 食文化 など

魅力的で安心・安全快適な暮らしの実現

不安や不便を解消し豊かな暮らしをつくるまちづくり

- ・ 公共交通
- ・ 商業・買い物環境
- ・ 道路などまちの基盤
- ・ 地域福祉・高齢者福祉など

Ⅱ

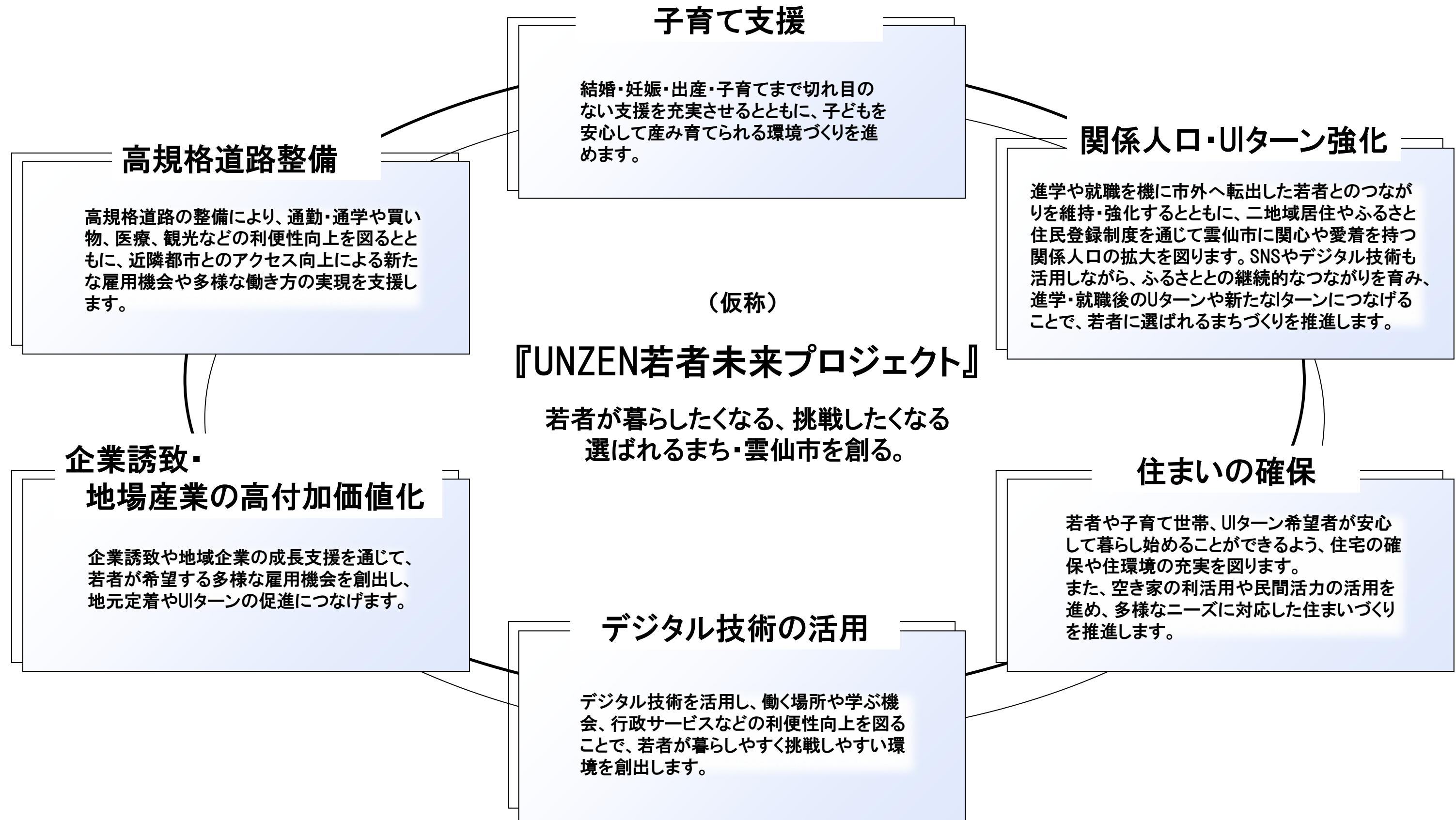
ありたい姿を 実現するための まちづくり戦略

基本計画

重点プロジェクトと分野別計画

重点プロジェクト

若者の流出を抑制し、定住・Uターンを促進するため、若者の暮らしと挑戦を支える施策を重点的に推進します。庁内各課が分野を越えて連携し、個々の施策を掛け合わせることで、新たな付加価値を生み出します。



まちづくりの全体像

将来像

温もりと夢をつなぐまち

雲仙市

基本方針1

力強い産業づくり

1-1 農業	①担い手の確保・育成と経営支援 ②集落営農組織の育成と法人化支援 ③生産基盤の整備 ④優良農地の確保と耕作放棄地対策 ⑤農作物の品質向上 ⑥生産性向上とコスト削減	【農林課・農漁村整備課・農業委員会】
1-2 林業	①担い手の確保・育成と経営支援 ②生産基盤の整備 ③林業資源の育成・確保 ④販路拡大	【農林課】
1-3 水産業	①担い手の確保・育成と経営支援 ②漁業環境の整備 ③水産資源の維持・保全	【農漁村整備課】
1-4 商工業・企業誘致・新産業	①地場産業における持続可能な経営基盤の構築支援 ②企業誘致の推進 ③起業・創業支援 ④多様な人材の確保と就業支援	【商工労政課・企業誘致推進室】
1-5 物産ブランド	①雲仙ブランドの構築及び販路拡大・地産地消の推進	【観光物産課】
1-6 観光・交流	①観光基盤の整備 ②高付加価値化と誘客効果 ③多様な交流の実現	【観光物産課・建築課・生涯学習課・スポーツ振興課】

基本方針2

磨き輝く魅力づくり

2-1 関係人口	①つながりが広がるまちづくり	【政策企画課】
2-2 若者定住・移住	①若者の地元就職支援 ②移住・定住の情報発信・受入体制の強化	【地域づくり推進課・商工労政課】
2-3 シティプロモーション	①きめ細かな情報発信と公聴機会の充実	【未来創生課】
2-4 歴史・文化・芸術	①文化財の保存・活用 ②芸術・文化環境の創造	【生涯学習課】

基本方針3

人を育むまちづくり

3-1 出会い・結婚	①出会い・結婚の支援	【地域づくり推進課】
3-2 子育て支援	①きめ細かな出産・育児の支援 ②地域ぐるみの子育て支援体制の強化 ③妊娠・子育てに関する経済的負担の軽減 ④幼児教育・保育サービスの充実	【子ども支援課・学校教育課・政策企画課】
3-3 学校教育	①確かな学力を育む教育 ②地域と連携した教育環境づくり ③安全・安心な教育環境、魅力的な高校づくり	【政策企画課・総務課・学校教育課】
3-4 生涯学習	①生涯学習推進にかかる体制と施設の整備・利用促進 ②青少年の健全育成	【生涯学習課】
3-5 生涯スポーツ	①スポーツ大会・教室の充実と参加促進 ②スポーツ団体・指導者の育成 ③スポーツ環境の充実と利用促進	【スポーツ振興課】

基本方針4

安心の暮らしづくり

4-1 地域福祉・高齢者福祉	①地域福祉の充実 ②介護予防と生活支援の充実 ③在宅・施設サービスの充実 ④就労と生きがいづくり	【福祉総務課・福祉支援課】
4-2 障がい者福祉	①障がい者を支える環境づくりと社会参画の促進	【福祉総務課】
4-3 健康・医療	①生活習慣病の発症予防と重症化予防 ②生活習慣と社会環境の改善 ③こころの健康づくり ④医療・救急体制の充実	【総合窓口課・福祉支援課・健康づくり課】
4-4 暮らしの安全確保	①地域防災体制の強化 ②防犯対策の充実 ③交通安全のまちづくり ④消費者保護	【防災安全課・地域づくり推進課】
4-5 社会援護	①生活困窮者の自立支援と相談体制の強化	【保護課】
4-6 協働のまちづくり	①地域コミュニティの育成 ②市民活躍のまちづくり ③男女共同参画社会の推進 ④人権の啓発と擁護	【地域づくり推進課・学校教育課】

基本方針5

持続可能な生活基盤づくり

5-1 道路・公共交通	①主要幹線道路の整備 ②市内主要道路の整備 ③公共交通の維持・活性化	【政策企画課・監理課・道路河川課】
5-2 社会基盤	①住環境の整備 ②公園・緑地の整備 ③河川・港湾の整備及び自然災害対策 ④景観まちづくり	【財産管理課・農漁村整備課・監理課・道路河川課・建築課】
5-3 上下水道	①水道施設の適正な維持管理 ②下水道施設の適正な維持管理と水洗化の普及	【環境政策課・水道課・下水道課】
5-4 情報化・先端技術	①ICTを活用したまちづくり	【行革推進課】
5-5 環境保全・活用	①自然環境の保全と活用 ②ごみ・し尿処理体制の充実 ③環境衛生事業の推進	【環境政策課】

基本方針6

戦略的な行財政運営

6-1 行政運営	①行政経営基盤の強化 ②広域連携の推進 ③情報管理とデジタル技術 ④人材育成と組織体制の強化	【政策企画課・人事課・行革推進課・財産管理課】
6-2 財政運営	①効率的な財政運営 ②公的資産の有効活用	【未来創生課・財政課・財産管理課・税務課・収納推進課・観光物産課】

01 農業

【農林課・農漁村整備課・農業委員会】

国内外の競争に勝ち抜く日本屈指の農業を確立します。

政策の成果指標	基準（R7）	目標（R13）
農業産出額(又は付加価値)(年間)	292.4億円（R5）	302.7億円

施策1

担い手の確保・育成と経営支援

【具体的な取り組み】

- 認定農業者の育成
- 新規就農者の確保・育成
- 地域内連携による多様な生産者育成支援
- 新規参入者の支援

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
認定農業者数<法人含む>	経営体	843	850
新規就農者数(年間)	人	31	35

施策3

生産基盤の整備

【具体的な取り組み】

- ほ場区画の整理
- 農業用水の安全確保
- 農道の整備
- 土地改良施設ストックマネジメント、維持管理支援と長寿命化

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
農地の区画整理面積（累計）	ha	1,904.0	1,940.3
畑のほ場整備率	%	39.1	40.8

【市民の声(アンケート・ワークショップより)】

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 農業後継者が減少しており、次世代を育成する取組を強化してほしい。
- スマート農業や機械導入への補助を拡大し、省力化と効率化を進めてほしい。
- 儲ける農業を推進し、地域経済の活性化につなげてほしい。
- 農業・漁業・観光などの一次産業と関連産業を連携させ、島原半島全体の特性を活かした産業振興を図るべき。
- 若者の活躍の場として、スタートアップ支援の強化や農業分野でのスポットワークのような仕組みづくりが必要。

施策2

集落営農組織の育成と法人化支援

【具体的な取り組み】

- 「地域計画」の話し合い支援
- 集落営農等の組織化支援
- 農業経営の法人化の支援

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
集落営農組織数	組織	17	19
農業生産法人数	戸	69	74

(写真等掲載予定)

施策4

優良農地の確保と耕作放棄地対策

【具体的な取り組み】

- 農地の適切な管理
- 国施策の利用促進
- 農地パトロールの充実
- 耕作放棄地解消対策
- 有害鳥獣対策の強化

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
耕作放棄地解消面積（年間）	ha	17.2	18.6
鳥獣害防止WM柵、電気柵設置農地面積（年間）	ha	27.4	30.0

(写真等掲載予定)

施策5

農産物の品質向上

【具体的な取り組み】

- 有機性資源利活用による土づくりの促進
- 長崎県特別栽培農産物制度の推進
- 有機農業の推進
- 農薬適正使用と生産履歴記帳の促進
- 農業生産工程管理の普及

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
有機農作物栽培面積	ha	43.3	65.0

施策6

生産性向上とコスト縮減

【具体的な取り組み】

- 国の施策の活用
- 米品質向上対策の推進
- 新品種や品質向上に資する資材導入の推進
- 農作業にかかる労力軽減の取組推進
- 規模拡大に向けた農業労働力の確保
- 飼料生産基盤の強化
- 情報通信技術(ICT)の農畜産への活用
- 優良畜産物の生産性向上と防疫体制の強化

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
担い手への農地集積率	%	64.8	70.0

02 林業

【農林課】

森林資源が豊かに循環する持続可能な林業を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
林産物生産量(年間)	4,682m ³	6,435m ³

施策1

担い手の確保・育成と経営支援

【具体的な取り組み】

- 林業事業体の育成支援
- 森林施業の集約化の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
意欲と能力のある林業経営体数	事業体	1	1
森林経営長期受委託契約面積	ha	773	800

施策3

林業資源の育成・確保

【具体的な取り組み】

- 森林情報システムの構築
- 間伐の推進
- 持続的な森林資源循環システムの構築

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
森林経営計画策定件数(年間)	件	2	2
利用間伐面積(年間)	ha	62	72

施策2

生産基盤の整備

【具体的な取り組み】

- 路網整備の推進
- 治山の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
路網整備延長(年間)	m	5,796	6,500
保安林面積	m ²	2,123	2,127

施策4

販路拡大

【具体的な取り組み】

- 木材利用の拡大推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
県産材利用の公共施設数(累計)	施設	1	2

03 水産業

【農漁村整備課】

豊かな海と確かな資源に支えられた活力ある水産業を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
漁業生産量(年間)	15.6億円 (R4～R6平均)	16.4億円

施策1

担い手の確保・育成と経営支援

【具体的な取り組み】

- 漁業後継者の育成
- 新規漁業就業者の受入体制の整備
- 漁業経営の安定化
- 水産物のPR・販路拡大支援
- 海業の振興

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
新規漁業就業者数(年間)	人	2 (H19～R7平均)	2
水産物販売促進PRイベント等来場数(年間)	社	6 (R6～R7平均)	8

施策3

水産資源の維持・保全

【具体的な取り組み】

- 栽培漁業の推進
- 収益性の高い養殖業の育成

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
種苗放流(稚魚)(累計)	千尾	51,137	66,887
種苗放流(アサリ)(累計)	t	360.6	510.6

施策2

漁業環境の整備

【具体的な取り組み】

- 漁業環境の保全
- 漁港施設の整備及び管理
- 漁業の生産性・収益性の向上

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
漁港施設整備率(漁港施設岸壁整備)	%	44.1	100
有明海・橘湾海底耕耘面積(累計)	ha	13,322 (※)	27,822

※ 現行計画の実績延べ面積

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 農業・漁業・観光などの一次産業と関連産業を連携させ、島原半島全体の特性を活かした産業振興を図るべき。

04 商工業・企業誘致・新産業

【商工労政課・企業誘致推進室】

安定した経営と新たな挑戦を支える商工業と新産業を創出します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
付加価値額(経済センサス)(年間)	2,373万円 (R3)	2,400万円

施策1

地場産業における持続可能な経営基盤の構築支援

【具体的な取り組み】

- 労働生産性の向上
- 事業承継の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
従業員の職場定着のため、職場環境改善に取り組んでいる事業所数(累計)	事業所	42	282
事業承継数(累計)	件	5 (R4～R6平均)	35
市内事業所への新規就業者数(18歳以上35歳以下)(累計)	人	23	143

施策3

起業・創業支援

【具体的な取り組み】

- 起業・創業支援

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
起業・創業件数(累計)	件	28	178

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 企業誘致や工場立地を進め、市内で安定して働ける仕事を増やしてほしい。
- 企業誘致や農業支援を進め、働く場所を確保することで、移住や定住、結婚につながる人の流れをつくってほしい。
- 市のブランド力を将来につなげるため、一次産業支援だけでなく企業誘致や雇用創出など、多様な選択肢を持つまちづくりを進めてほしい。
- 体験型観光や空き家活用による地域参加型の起業支援。

施策2

企業誘致の推進

【具体的な取り組み】

- 企業誘致の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
企業誘致件数(累計)	件	2	7
誘致企業雇用予定数(累計)	人	70	170

施策4

多様な人材の確保と就業支援

【具体的な取り組み】

- 人材確保・育成支援
- 外国人人材の雇用推進
- 特定地域づくり事業

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
特定地域づくり事業における派遣職員の雇用者数(累計)	人	8	13

05 物産ブランド

【観光物産課】

地域の魅力とこだわりが詰まった雲仙ブランドを全国へ発信します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
ふるさと応援寄附者数(年間)	16,613人	35,000人

施策1

雲仙ブランドの構築及び販路拡大・地産地消の推進

【具体的な取り組み】

- 一次産業と観光等の連携による雲仙ブランドの構築
- 物産ブランドの販売促進・販路開拓
- 交流イベントによる雲仙ブランドの浸透
- ふるさと応援寄附制度を活用した特産品の情報発信
- 直売所の有効活用

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
「雲仙ブランド」のPR活動及び商談会効果額(年間)	億円	299.2	399.4
SNS等による情報発信フォロワー数	人	50	2,500
直売所の売上額(年間)	千円	88,558	150,000

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 雲仙の農産物を県外にも積極的にPRし、ブランド力を高めてほしい。
- YouTube等も活用し、市の特産品をPRしてほしい。
- 島原半島全体を一体的な観光エリアとして捉え、温泉、海、農業・漁業体験、史跡などを組み合わせた広域的な観光PRを進めるべき。
- 自然豊かで美味しい野菜や魚を食べることができ、ゆっくりと生活できる場所は、とてもいいと思う。
- 海の幸山の幸や水に恵まれていて食べ物が美味しい。
- 道の駅を設置し、地域農業・産業の活性化を図る。

06 観光・交流

【観光物産課・建築課・生涯学習課・スポーツ振興課】

誰もが「訪れたい・また来たい」と憧れる魅力ある観光地を確立します。

政策の成果指標	基準（R7）	目標（R13）
観光消費額(年間)	238億円	315億円

施策1

観光基盤の整備

【具体的な取り組み】

- 持続可能なDMOの運営支援
- 受入環境基盤の整備
- 魅力ある宿泊施設整備への支援

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
ホテル・旅館の大規模建築物の耐震化件数（累計）	件	5	7
DMOに対する活動支援	件	1	1

施策3

多様な交流の実現

【具体的な取り組み】

- コンベンションの誘致
- 国内・国際交流の推進

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
スポーツコンベンション誘致件数(年間)	件	3	5
国際・国内交流事業参加者数(年間)	人	6	8

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 四季折々のイベントで観光の魅力を増やす。
- 温泉だけでなく、食べ歩き、マルシェ、体験型観光、アクティビティなど、滞在時間を延ばす仕組みを充実させてほしい。
- 道の駅や農水産物直売施設など、地域の食や特産品を楽しめる拠点を整備し、観光客の周遊や消費拡大につなげてほしい。
- 観光情報やイベント情報が十分に伝わっていないため、SNSなどを活用した分かりやすい情報発信を強化してほしい。

施策2

高付加価値化と誘客効果

【具体的な取り組み】

- 観光コンテンツの開発・磨き上げ
- 広域連携の推進
- 情報発信・セールスプロモーションの強化
- 観光人材の確保・育成と事業者支援

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
日帰り客数(年間)	千人	1,145	1,215
延べ宿泊客滞在数(年間)	千人	747	785
観光客延べ数(年間)	千人	1,885	2,001
外国人延べ宿泊者数(年間)	人	24,275	25,768

(写真等掲載予定)

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 周遊観光ルートの策定とネットワーク化が必要。
- 人的ガイドとICTの融合による体験価値の創出。ガイド組織をネットワーク化、デジタル技術（音声ガイド・無料Wi-Fi）活用が求められる。

07 関係人口

【政策企画課】

多様な交流から生まれる雲仙市とつ
ながり続ける関係人口を拡大します。

政策の成果指標	基準（R7）	目標（R13）
社会動態（転入者から転出者を引いた5カ年平均数）	-76人	➤➤➤ -46人

施策1

つながりが広がるまちづくり

【具体的な取り組み】

- 関係人口の創出・拡大のための環境整備
- 大学・企業との交流推進

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
大学・専門学校（学生）との連携事業数（年間）	事業	6	9

（写真等掲載予定）

08 若者定住・移住

【地域づくり推進課・商工労政課・政策企画課】

次世代が「住みたい・住み
続けたい」と思えるまちを
確立します。

政策の成果指標	基準（R7）	目標（R13）
転入者数（年間） ※県異動人口調査より	1,459人	➤➤➤ 1,470人

施策1

若者の地元就職支援

【具体的な取り組み】

- 若者の地元就職支援

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
【再掲】市内事業所への新規就業者数（18歳以上35歳以下）（累計）	人	23	143

（写真等掲載予定）

施策2

移住・定住の情報発信・受入体制の強化

【具体的な取り組み】

- 情報発信の強化
- お試し移住での就業・求職活動年間実施の推進
- 新・子育て応援パッケージ
- Uターン者への住まいの支援
- 移住者の定着支援
- 空き家等の有効活用の推進

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
移住相談件数（年間）	件	300	310
お試し移住での就業・求職活動実施件数（年間）	件	-	5
移住世帯数（年間）	世帯	155	160
空き家バンク登録件数（年間）	件	26（R4～R7平均）	30
雲仙市に住み続けたい市民の割合（20代）	%	35.6	50.9

市民の声（アンケート・ワークショップより）

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- ・ 移住や定住を進めるためには、住居支援だけでなく、仕事や生活費を含めた「暮らしのイメージ」が具体的に伝わる仕組みが必要。
- ・ 移住者の受け入れと同時に、地元の若者や子どもが将来も雲仙市に住み続けたいと思えるような定住施策を重視してほしい。
- ・ 空き家をリノベーションして賃貸住宅やシェアハウス、市営住宅として活用し、若者や移住者が住みやすい環境を整えてほしい。

09 シティプロモーション

【未来創生課】

雲仙市の魅力と価値を戦略的に伝えるシティプロモーションを確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
SNSを通じた市民からの反応 (いいね、シェアなど)の総数(年間)	26,000件	28,700件

施策1

きめ細やかな情報発信と公聴機会の充実

【具体的な取り組み】

- 多様な媒体を利用した情報発信
- シティプロモーション活動の実施
- 広聴活動の充実

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
市ホームページの再検索率	%	61.0	400
公式LINEとInstagramのフォロワー数	人	8,500	13,500

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 移住・定住、子育て支援などの施策について、申請しなければ分からない受動的な制度ではなく、分かりやすく能動的な情報発信を行うべき。
- 自然・景観・歴史などの魅力は豊富だが、市民向けの情報発信が十分でなく、市民自身が魅力を認識・発信できていない。
- 観光情報やイベント情報が十分に伝わっていないため、SNSなどを活用した分かりやすい情報発信を強化してほしい。

10 歴史・文化・芸術

【生涯学習課】

誇りある歴史と文化、芸術を確実に次世代へ継承します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
郷土学習や文化体験を通じて、地域の歴史を学んだ小中学生の数(年間延べ数)	161人	170人

施策1

文化財の保存・活用

【具体的な取り組み】

- 文化財の保存整備
- 文化財・歴史の普及・活用
- 伝統芸能等の保存・継承
- 食文化の保存・継承

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
文化財の指定数	件	67	67
鍋島邸入場者数(年間)	人	6,532	7,100

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 自然・景観・歴史などの魅力は豊富だが、市民向けの情報発信が十分でなく、市民自身が魅力を認識・発信できていない。
- 雲仙市の個性や歴史的資源をわかりやすく発信することが重要。
- 文化財・史跡の調査と一元化データベース化や視認性と利便性に優れた統一デザイン案内板の設置が必要（デジタル情報：QRコードによる音声ガイド）。

11

出会い・結婚

【地域づくり推進課】

未来の選択肢を広げる出会いと結婚を応援します。

12

子育て支援

【子ども支援課・学校教育課・政策企画課】

誰もが安心して子どもを生み育てられる理想の子育て環境を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
本市窓口での婚姻届の受理数(年間)	106組	120組

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
子育て支援満足度	30.8%	35.0%

施策1

施策2

出会い・結婚の支援

地域ぐるみの子育て支援体制の強化

【具体的な取り組み】

【具体的な取り組み】

- 団体が実施する婚活イベント等への支援
 - 長崎県お見合いシステムへの登録推進
 - 婚活相談窓口の設置
- 子育て支援環境の充実・整備
 - 子どもの居場所づくりの創出
 - 子どもの遊び・学び場いこいこの運営

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
長崎県お見合いシステムの新規登録者数(年間)	人	26 (R5～R7 平均)	30
市が関わる婚活推進イベントの開催数(年間)	回	3	4

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
母子モ利用登録者数	人	—	1,150
この地域で子育てをしたいと思う人の割合	%	95.82	95.82

乳児家庭訪問実施率	%	100	100
-----------	---	-----	-----

施策3

施策4

妊娠・子育てに関する経済的負担の軽減

幼児教育・保育サービスの充実

【具体的な取り組み】

【具体的な取り組み】

- 子育て世帯への経済的支援
 - ひとり親家庭への支援
- 仕事と子育ての両立支援
 - 保育サービスの充実

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
市独自の支援事業への満足度	%	—	80.0

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
子育て環境への満足度(保育サービスの充実)	%	56.50 (R6)	57.42
待機児童数	人	0	0

（写真等掲載予定）

市民の声(アンケート・ワークショップより)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 企業誘致や農業支援を進め、働く場所を確保することで、移住や定住、結婚につながる人の流れをつくってほしい。
 - 婚活ではなく、同世代が自然に交流できる場や職業別の出会いの機会を増やしてほしい。
 - 結婚サポートがあるみたいだが、県外の人も会費登録無料にしたら外から入って来る人が増えるのと思う。
 - 子どもが「本心で残りたい」と思える雲仙市、結婚・子育て・就職まで見据えられるまちになってほしい。
- 物価高で子育て世帯の生活が厳しいため、手当や補助金を増やしてほしい。
 - 子育て支援の内容が分かりにくいため、情報発信を強化してほしい。
 - 相談体制や専門家による子育て支援を充実させてほしい。
 - 子どもが成長しても「このまちで暮らしたい」と思えるよう、教育と子育てをまちづくりの中心に据えてほしい。
 - 子どもが「本心で残りたい」と思える雲仙市、結婚・子育て・就職まで見据えられるまちになってほしい。

13 学校教育

【政策企画課・総務課・学校教育課】

子どもの可能性と豊かな個性を伸ばす学校教育を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
「主体的な学び」に対する肯定的回答割合	(小) 79.2% (中) 72.7%	≫ (小・中) 85.0%
「対話的な学び」に対する肯定的回答割合	(小) 87.9% (中) 87.3%	≫ (小・中) 90.0%

施策1

確かな学力を育む教育

【具体的な取り組み】

- 確かな学力を育成する教育の推進
- 国際理解教育の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
県学力調査との比較(小)	%	全教科県平均以上	全教科県平均以上
県学力調査との比較(中)	%	1教科県平均以上	全教科県平均以上

施策3

安全・安心な教育環境と魅力的な高校づくり

【具体的な取り組み】

- 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- 教育相談体制の充実
- 教育関係施設の充実
- 情報教育環境の整備
- 適切な教育環境のあり方の検討
- 市内高校の魅力向上に関する取り組みの支援
- 市内高校との連携による地域活性化

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
不登校児童生徒の割合	%	2.5	1.6
学校のトイレ洋式化率	%	44.7	70.4

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- ・ タブレット授業やICT教育、リモート授業など、現代の教育ニーズに対応する技術を導入してほしい。
- ・ 外部専門家の活用により、教育現場の課題や生徒指導をサポートしてほしい。
- ・ 教員の働き方改革を進めつつ、教育現場での柔軟な取り組みを尊重してほしい。
- ・ 小規模校や学校統合に伴う学習・教育環境の確保を進め、学校が減る中でも特色ある教育の選択肢を保持してほしい。
- ・ 小中併設校（義務教育学校）など、効率的かつ質の高い教育体制を検討してほしい。

14 生涯学習

【生涯学習課】

誰もがいつでも主体的に学び育つ生涯学習環境を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
生涯学習講座等参加者数(年間)	6,700人	≫ 7,400人

施策1

生涯学習推進にかかる体制と施設の整備・利用促進

【具体的な取り組み】

- 多様な生涯学習プログラムの充実
- 自主活動グループ等への導き
- 読書環境の充実
- 社会教育施設の整備と利用促進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
講座、講演会等の参加者数(年間延べ数)	人	3,880	4,500
図書館利用者数(年間延べ数)	人	37,035	40,000
地域子ども教室参加者数(年間延べ数)	人	2,820	2,900
移動図書館利用者数(年間延べ数)	人	4,992	5,000

(写真等掲載予定)

施策2

青少年の健全育成

【具体的な取り組み】

- 青少年を取り巻く環境の浄化・青少年の非行防止活動の推進
- 地域や家庭の教育力向上
- 青少年の健全育成の推進
- 親子の交流と心豊かな子どもの育成

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
メディアの安全指導に関する講演会等(年間)	回	25	30
ブックスタート事業(年間)	回	59	60

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- ・ いろいろな分野の講座や学び直しの機会を増やしてほしい。
- ・ 年齢を問わず参加できる英語教室やデジタル講座など、多様な学びを提供してほしい。
- ・ カフェ型の交流スペースを作ってほしい。
- ・ 公民館と図書館を同じ建物にして、利用者が情報を容易に得られる環境を整えてほしい。
- ・ 公民館や図書館の申請・鍵の手続きなどを簡略化し、利用しやすくしてほしい。

15

生涯スポーツ

【スポーツ振興課】

市民の誰もが心から楽しめる生涯スポーツ社会を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
健康寿命(男性)	79.52歳(R6)	82.34歳
健康寿命(女性)	84.74歳(R6)	86.68歳

施策1

スポーツ大会・教室の充実と参加促進

- 【具体的な取り組み】
- スポーツ大会・教室の充実と参加促進
 - 総合型地域スポーツクラブの支援
 - レクリエーション協会の運営支援
 - ラジオ体操の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
教室開催数(年間)	回	2	3
総合型地域スポーツクラブの会員数	人	180	200

施策3

スポーツ環境の充実と利用促進

- 【具体的な取り組み】
- 社会体育施設の適正な管理運営
 - 指定管理者制度等による民間活力の導入

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
定期的な施設点検実施数(年間)	回	6	6
スポーツ施設における指定管理者制度等の導入施設数	施設	2	3

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 若者や子育て世代も楽しめるイベント、スポーツ、文化活動の場を増やし、活気やにぎわいを感じられるまちにしてほしい。
- 小浜アリーナなど既存施設を活用してスポーツイベントや習い事ができる環境を整えてほしい。
- アーバンスポーツ（プレイキンなど）の誘致やイベント開催を通じて、移住者や観光客を呼び込みたい。
- eスポーツなど、新しい形態のスポーツイベントも検討してほしい。



16

地域福祉・高齢者福祉

【福祉総務課・福祉支援課】

誰もが安心して暮らせる
地域福祉を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
65歳以上人口に占める介護認定を受けていない割合	78.4%	78.4%

施策1

地域福祉の充実

【具体的な取り組み】

- ボランティアの育成と活動支援
- 地域の見守りネットワークの構築
- 地域共生社会の実現

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
見守り活動に関する協定の締結団体数(累計)	団体	44	45

施策3

在宅・施設サービスの充実

【具体的な取り組み】

- 高齢者の見守り体制の整備促進
- 保険・医療・福祉サービスの充実
- 高齢者相談体制の充実
- 福祉拠点等の適正で効率的な管理運営

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
緊急通報装置の設置台数	台	193	195

施策2

介護予防と生活支援の充実

【具体的な取り組み】

- 介護保険制度の円滑な運営
- 介護予防の推進
- 認知症対策の推進
- 介護支援対策の推進
- 高齢者の尊厳と権利を守る環境づくり

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
介護予防教室参加者数(年間延べ数)	人	17,475	20,000
【再掲】65歳以上人口に占める介護認定を受けていない割合	%	78.4	78.4

施策4

就労と生きがいづくり

【具体的な取り組み】

- 高年齢者の就業機会の確保
- 生きがいづくりの支援
- 高齢者が外出しやすい環境づくり

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
シルバー人材センター加入会員数	人	168	168
老人クラブ数(老人クラブ連合会加入数)	クラブ	78	78
社協・老人クラブ連合会開催スポーツ大会参加者数(年間)	人	2,148	2,100

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- ・ 独居高齢者の増加により、安否確認や近隣同士の交流を促す仕組みが必要。
- ・ 高齢者が子どもや家族に過度な負担をかけず、施設や地域で楽しく生活できるよう、介護施設や在宅支援、見守り体制の充実が必要。
- ・ 一人暮らし高齢者や認知症のある人が孤立しないよう、声かけや見守りなど、本人の意思を尊重した地域での支え合いを大切にしてほしい。
- ・ 車がない人や高齢者でも通院しやすい医療体制を整えてほしい。

17

障がい者福祉

【福祉総務課】

障がいの有無にかかわらず全員が
共に生きる共生社会を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
障害者就業・生活支援センター支援による就業者率	5.9%	10.1%

施策1

障がい者を支える環境づくりと社会参画の促進

【具体的な取り組み】

- ノーマライゼーションの社会づくり
- 障がい者の就労支援
- 相談支援体制の充実
- 家族介護者の支援
- 虐待防止と権利擁護
- 日常生活の支援

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
障害者就業・生活支援センター支援による就業者数(年間)	人	7	12
障がい者巡回相談実施回数(年間)	回	13	13
手話奉仕員養成講座受講者数(年間)	人	10	12

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- ・ 高齢者、障害者、子どもが地域の中で交流できる機会が減っており、世代間交流を促す仕組みづくりが必要。
- ・ 障がい者福祉は今後さらに強化していく必要があると思う。
- ・ 障がいのある人の活動等を広報誌などで紹介し、偏見をなくしてほしい。
- ・ 障がいのある人が利用できる施設や、預け先を増やしてほしい。

18 健康・医療

【総合窓口課・福祉支援課・健康づくり課】

市民の健康を支える医療・救急体制を確保します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
【再掲】健康寿命	男性79.52歳・女性84.74歳(R6)	男性82.34歳 女性86.68歳

施策1

生活習慣病の発症予防と重症化予防

【具体的な取り組み】

- 各種健康診査等の充実と受診率の向上
- 特定保健指導・相談体制の充実
- 予防接種の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
特定健康診査受診率	%	38.1	45.0
胃がん検診	%	5.1	20.0

施策3

こころの健康づくり

【具体的な取り組み】

- 市民への啓発・周知と自殺を防ぐ人材の育成
- 地域におけるつながり力の強化
- 自殺リスクを減らす支援の提供

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
自殺者数(人口10万人あたり)(年間)	人	5.0 (R5)	減少

施策2

生活習慣と社会環境の改善

【具体的な取り組み】

- 栄養・食生活の改善
- 身体活動・運動習慣の確立と実践
- 禁煙と適正飲酒の推進
- 歯及び口腔の健康づくり

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
肥満者(BMI:25以上)の割合(20～60歳代 男性)	%	35.4 (R6)	35.2
肥満者(BMI:25以上)の割合(40～60歳代 女性)	%	24.7 (R6)	15.0
成人の喫煙率の減少(男性)	%	25.9 (R6)	基準値より減少
成人の喫煙率の減少(女性)	%	3.0 (R6)	基準値より減少

施策4

医療・救急体制の充実

【具体的な取り組み】

- 地域医療体制の維持
- かかりつけ医の推進
- 休日・夜間の医療体制の維持
- 県南医療圏二次救急医療体制の維持
- 在宅医療・介護連携体制の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
県南医療圏二次救急医療体制確保(平日の夜間、休祝日の開設数)	開設／日	2	2

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- ・ 在宅医療を担う病院が少なく、病院誘致や経営支援を進めてほしい。
- ・ 子どもから高齢者まで、安心して心身の相談ができる体制として、心理カウンセリングや心のケア、夜間・時間外救急医療の充実を求める。
- ・ 慢性疾患があるため、近くに専門的な診療を受けられる医療機関があると助かる。
- ・ 夜間や休日、年末年始に受診できる医療機関が少なく不安を感じる。
- ・ 小児科、耳鼻科、皮膚科など専門医療が不足しており、諫早市や大村市まで通院する負担が大きい。市内で完結できる医療体制の充実が必要。
- ・ 医師の確保や医院の継続など、地域医療を守る取組を行政も一緒に考えてほしい。

19 暮らしの安全確保

【防災安全課・地域づくり推進課】

災害や犯罪に屈しない安全・安心な暮らしを守ります。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
交通事故死傷者数(年間)	111人	105人

施策1

地域防災体制の強化

【具体的な取り組み】

- 自主防災組織の育成と活動支援
- 防災情報の発信
(ハザードマップ、危険箇所周知含む)
- 総合防災訓練の実施
- 防災体制・防災施設の整備
- 消防防災体制の充実・強化
- 国民保護の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
防火水槽の設置数(20t以上)(累計)	基	548	550
自主防災組織地区数(累計)	地区	148	226

施策3

交通安全のまちづくり

【具体的な取り組み】

- 交通安全教育の推進
- 交通安全施設の整備・充実
- 地域主体の交通安全活動の支援

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
【再掲】交通事故死傷者数(年間)	人	111	105
高齢者交通事故者数(年間)	人	34	30

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- ・ 自然災害に備え、避難しやすい動線や安全な避難環境を整えた、安心して暮らせるまちづくりを進めてほしい。
- ・ 交通量の多い道路にガードレールがなく危険な箇所があるため、ガードレールや信号機の設置など、歩行者の安全対策を進めてほしい。
- ・ 高齢になると夜間の運転が難しくなるため、白線の引き直しや見通し改善など、交通安全対策を強化してほしい。
- ・ 巧妙化する詐欺被害を防ぐため、講習会など啓発の取組を行ってほしい。

施策2

防犯対策の充実

【具体的な取り組み】

- 防犯に関する意識啓発
- 地域ぐるみの防犯活動の推進
- 防犯施設・設備の整備・充実

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
市管理防犯灯数(累計)	灯	415	420
刑法犯罪発生件数(年間)	件	110	92

施策4

消費者保護

【具体的な取り組み】

- 消費生活に関する意識啓発
- 相談体制の充実

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
専門的・継続的な研修受講による相談体制の充実(相談員1人あたりの研修受講回数)(年間)	回	17	18
消費生活支援講座受講者数(年間)	人	458 (R4～R7実績)	460

20 社会援護

【保護課】

一人ひとりの人権を尊び、支え合う温かい社会をつくれます。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
生活保護自立(廃止)人数(年間)	2人	2人

施策1

生活困窮者の自立支援と相談体制の強化

【具体的な取り組み】

- 生活保護者等就労自立促進事業の推進
- 生活困窮者等の相談体制の充実

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
生活保護者等就労自立促進事業計画による支援対象者数(年間)	人	30	28
生活保護者等就労自立促進事業計画による就労者数(年間)	人	23	22
生活保護者等就労自立促進事業計画による就労率	%	76.6	78.6

(写真等掲載予定)

21 協働のまちづくり

【地域づくり推進課・学校教育課】

市民と行政が確かな信頼で結ばれた協働のまちづくりを進めます。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
自治会加入率	72.4%	72.4%

施策1

地域コミュニティの育成

【具体的な取り組み】

- 自治会活動の支援
- 自治会活動に関する情報発信と加入促進
- 自治会組織間の相互交流の推進
- コミュニティ施設の整備・維持管理

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
自治会活動活性化交付金活動割対象事業数(年間)	件	1,135	1,200

施策3

男女共同参画社会の推進

【具体的な取り組み】

- 男女共同参画への意識づくり
- 女性活躍の推進
- 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- 家庭・職場・地域における男女共同参画の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
市審議会等における女性委員登用率	%	24.0%	32.0%

施策2

市民活躍のまちづくり

【具体的な取り組み】

- まちづくり団体の育成と活動支援
- 協働に関する情報収集・発信と協働意識の醸成・啓発

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
まちづくり団体への研修会等開催数(年間)	回	0	1

施策4

人権の啓発と擁護

【具体的な取り組み】

- 啓発活動の推進
- 関係機関との連携強化
- いじめ防止の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
人権相談所開設数(年間)	回	12	12

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 自治会の加入方法を簡易化する。新しく入ってきた人たちにとって小さいようで大きいハードル。
- 自治会活動への補助が少なすぎて、活動自体が細くなって維持できなくなっている。
- 町内会や地域行事への参加が半ば強制的に感じられ、負担になっているため、希望者参加型など柔軟な関わり方に変えてほしい。

22 道路・公共交通

【政策企画課・監理課・道路河川課】

未来の暮らしをつなぐ利便性の高い道路・公共交通網を確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
雲仙市民一人あたりの公共交通の平均利用回数	17.1回	27.4回
高速ICまでの所要時間短縮	42分	19分

施策1

主要幹線道路の整備

【具体的な取り組み】

- 島原道路の整備推進
- 富津防災の整備推進
- 愛野一小浜間の新たな幹線道路の整備推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
促進大会への総参加者数(年間)	人	800	800

施策3

公共交通の維持・活性化

【具体的な取り組み】

- 広域公共交通ネットワークの維持・活性化
- 域内公共交通の維持・活性化支援

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
チョイソこうんぜんの実車運行区間数に対する平均乗車人数(乗合率)	人	1.46	2

施策2

市内主要道路の整備

【具体的な取り組み】

- 国道・県道の改良・維持管理
- 市道の改良・維持管理

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
市道の改良率	%	55.8	56.4
点検・補修等による橋梁の安全確保率	%	100	100

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 幹線道路や農道の延長・接続により、災害時や交通事故時の迂回路を確保してほしい。
- 防災線や高規格幹線道路の早期完成を通じ、生活や救急・防災対応に支障が出ないようにしてほしい。
- 自動車専用道路やアクセス道路を整備し、雲仙市内外の移動をスムーズにしてほしい。
- 市道が全体的に狭く、舗装の傷みやひび割れも多いため、生活道路を含めた計画的な補修・拡張を進めてほしい。
- 高齢者だけでなく、子育て世代やけが等で一時的に車を使えない人にとっても、公共交通は生活の基盤。
- 乗合タクシーや「チョイソコ」は有効な移動手段だが、予約が取りにくい、行き先が限られるなどの課題があり、利便性向上を望む声がある。
- チョイソこうんぜんの現状利用実績・課題を精査、予約方法や運行形態をより利用しやすい仕組みへと改善・普及させてほしい。

23 社会基盤

【財産管理課・農漁村整備課・監理課・道路河川課・建築課】

毎日の安全と快適な暮らしを支える社会基盤を計画的に確立します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
公園等整備量(一人当たり面積)	53.9㎡	53.9㎡

施策1

住環境の整備

【具体的な取り組み】

- 市営住宅の長寿命化と適正な維持管理
- 建物耐震化の推進
- 老朽危険空家への対策

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
危険空家の除却費用助成件数(累計)	件	162	282
木造住宅耐震診断費助成件数(累計)	件	78	90

施策3

河川・港湾の整備及び自然災害対策

【具体的な取り組み】

- 計画的な河川改修
- 港湾の整備
- 自然災害への対策

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
漁港海岸保全施設整備率	%	3.0	24.0

施策2

公園・緑地の整備

【具体的な取り組み】

- 公園・緑地の適正な維持管理

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
公園トイレ洋式化率	%	43.4	53.1

施策4

景観まちづくり

【具体的な取り組み】

- 魅力的な景観づくり
- 屋外広告物の適正化

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
景観絵画コンクール「雲仙市の自慢の風景」応募率	%	32.0	32.0

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 空き家が放置されることで、防犯や火災、災害時の安全面に不安があり、解体や管理を含めた早急な対策が必要。
- 室内外で子どもが安心して遊べる公園や施設が少なく、徒歩圏内で利用できる遊び場を増やしてほしい。
- 子どもが安全に遊べる公園や遊具付き施設が不足していると思う。
- 既存の公園は遊具の修理や更新が必要で、安全に遊べる環境を整えてほしい。
- 人材不足で地域の木や草の伐採掃除、公園や河川の除草ができなくなっている。

24

上下水道

【環境政策課・水道課・下水道課】

安全で持続可能な上下水道を維持します。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
水道有収率(有収水量／給水量)	68.4%	73.4%
水洗化率(下水道)	75.2%	78.2%

施策1

水道施設の適正な維持管理

【具体的な取り組み】

- 水道施設の計画的な更新・改良及び適正な維持管理
- 水道施設の耐震化
- 持続可能な経営に向けた検討

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
水道施設の耐震化率	%	15.8	19.8
【再掲】水道有収率(有収水量／給水量)	%	68.4	73.4

(写真等掲載予定)

施策2

下水道施設の適正な維持管理と水洗化の普及

【具体的な取り組み】

- 水洗化率向上のための普及・啓発
- 合併処理浄化槽の設置に向けた普及・啓発
- 下水処理施設の維持管理と改築・更新
- 持続可能な経営に向けた検討

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
【再掲】水洗化率(下水道)	%	75.2	78.2
水洗化率(浄化槽分)	%	53.9	65.0

25

情報化・先端技術

【行革推進課】

情報化と先端技術で暮らしの利便性を高めます。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R12)
デジタル活用に関する相談・学習の機会を通じて、生活の利便性が向上したと感じる市民の割合	-	70.0%

施策1

ICTを活用したまちづくり

【具体的な取り組み】

- 情報リテラシーの向上
- デジタル社会の実現に向けた地域情報化の推進

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
デジタル活用の相談窓口、講習会、オンライン学習等の参加者数(年間延べ数)	人	306	300

(写真等掲載予定)

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 年齢を問わず参加できる英語教室やデジタル講座など、多様な学びを提供してほしい。
- 先端技術やデジタル化（DX）によって、生活全般が便利になり、高齢者や若い世代を含めた市民が暮らしやすくなることを期待する。
- 市内全域における無料Wi-Fi網の整備。SNS（LINE等）による情報発信の強化普及。デジタル・インフラによる定住・企業誘致の促進。会議資料等のデジタル・ペーパーレス移行、タブレット利用。

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 下水道の掃除（グリーストラップ）の管理が大変で、高齢者や一人暮らしには特に負担が大きいため、メンテナンスフリーの仕組みにしてほしい。

26

環境保全・活用

【環境政策課】

環境にやさしい持続可能なまちをつくれます。

政策の成果指標	基準（R7）	目標（R13）
1人1日あたりのごみ排出量	966.1g	775.7g

施策1

自然環境の保全と活用

【具体的な取り組み】

- 自然環境の保全
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 地熱資源の保護・活用

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
市域の温室効果ガスの削減率（2013年度比）	%	33.0	50.0
市有施設の温室効果ガスの削減率（2013年度比）	%	6.0	50.0
地域資源（再エネ・温泉熱）を活用した実証実験・プロジェクトの実施件数（累計）	件	1	5
環境学習開催回数（年間）	回以上	5	15

施策3

環境衛生事業の推進

【具体的な取り組み】

- 火葬場の適正な維持管理
- 動物と共生するまちづくり
- 食品衛生に関する意識啓発

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
狂犬病予防注射接種率	%	55.4	70.0

施策2

ごみ・し尿処理体制の充実

【具体的な取り組み】

- ごみ減量化の推進
- 効率的なごみ・し尿収集・処理体制の構築

主な成果指標	単位	基準（R7）	目標（R13）
資源化率	%	13.5	26.8

（写真等掲載予定）

（写真等掲載予定）

市民の声（アンケート・ワークショップより）

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 山や海、夕日などの自然景観は大きな魅力であり、自然を大切にしながら人が人らしく暮らせるまちであり続けてほしい。

27 行政運営

【政策企画課・人事課・行革推進課・財産管理課】

市民から信頼される効率的な行政運営を進めます。

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
行政運営に対する市民満足度	12.1%	15.0%

施策1

行政経営基盤の強化

【具体的な取り組み】

- 公共施設等総合管理の推進
- 庁舎の整備

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
保有施設総延床面積	千㎡	267.5	255.2

施策3

情報管理とデジタル技術

【具体的な取り組み】

- マイナンバー制度の適切な運用
- セキュリティ対策の強化
- デジタル技術を活用した行政運営

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
行政手続等の電子申請率	%	8.7	24.0

施策2

広域連携の推進

【具体的な取り組み】

- 近隣自治体との連携による施策推進（定住自立圏構想の推進）

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
定住自立圏形成数（累計）	自治体	0	1

施策4

人材育成と組織体制の強化

【具体的な取り組み】

- 職員研修の実施
- 人事評価制度の有効活用
- 組織体制の充実と定員管理

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
市職員研修参加者数（一般職）(年間延べ数)	人	1,307	1,368

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 行政・財政運営の強化が必須。既存施策の底上げや限られた資源の有効活用に取り組むべき。
- 行政は多くの施策を並べるよりも、目に見える成果が実感できる取組の一つでも着実にやり遂げてほしい。
- 現状維持や慣例にとらわれず、必要な見直しや挑戦的な取組にも積極的に取り組む行政姿勢を期待。

28 財政運営

健全で持続可能な財政運営を堅持します。

【未来創生課・財政課・財産管理課・税務課・収納推進課・観光物産課】

政策の成果指標	基準 (R7)	目標 (R13)
実質公債費比率	3.6%	8.9%
経常収支比率	89.6%	94.9%

施策1

効率的な財政運営

【具体的な取り組み】

- 行政評価と連動した財政運営
- 適正な課税実施
- ふるさと納税制度の活用
- 徴収体制の推進
- 新たな自主財源の確保の検討

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
市税の徴収率	%	97.61	97.61以上

施策2

公的資産の有効活用

【具体的な取り組み】

- 市有財産の有効活用

主な成果指標	単位	基準 (R7)	目標 (R13)
普通財産売却による収入額(累計)	万円	121	1,000

（写真等掲載予定）

市民の声(アンケート・ワークショップより)

※市民アンケートやワークショップで寄せられた意見のうち、各政策分野に関連する主な意見を抜粋・要約したものです。

- 将来の財源確保や収支バランスの維持が課題。無駄の見直しや補助事業の整理が必要。
- ふるさと納税の歳入の減少に伴う市民負担や財源確保について、今後どうなるのか不安がある。代替となる財源の確保が必要。